



一人でも入れる組合

ユニオン神奈川

No. 104

2017年9月15日

発行：日本労働組合総連合会神奈川県連合会
連合ユニオン神奈川事務局

〒231-0023

横浜市中区山下町24-1ワークピア4F

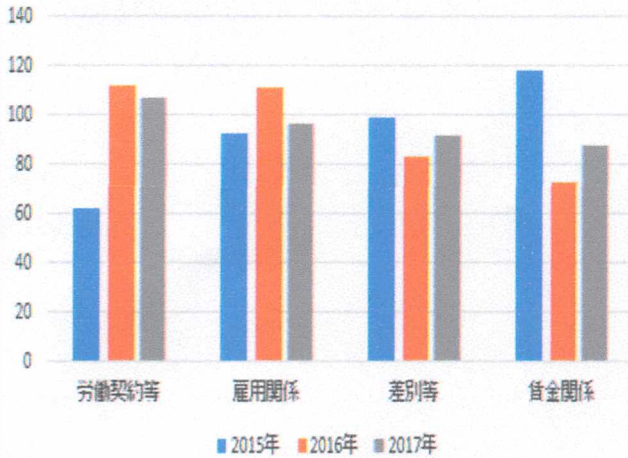
TEL:045-211-1133 FAX:045-201-8866

(相談ダイヤル) 0120-154-052

電話相談584件
今年度の特徴は？

2017年度における8月末までの労働相談は8ヶ月で584件となりました。相談項目別には労働契約等が107件・3%と最も多く二番目には雇用関係が97件、三番目には差別・セクハラが92件となりこの三項目で約半数を占めています。

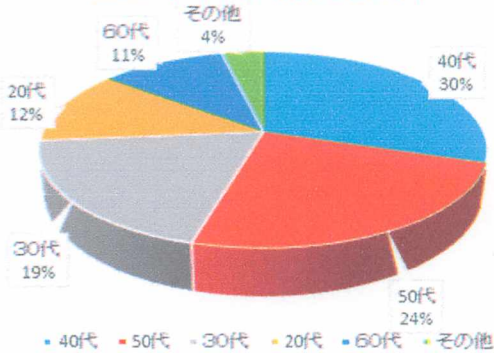
2015~2017年(1~8月)項目別推移



この三年間の相談項目の推移を見ますと15年のトップは賃金関係で118件20%でした。16年には83件で三番目となり17年は88件で四番目となりました。それにかわり15年には62件で五番目だった労働契約関係が昨年引き続き、今年度も107件でトップとなりました。労働契約関係等の相談の多くは、雇用契約書を交わしていないため

昨年四番目であった雇用関係が今年増えているのが特徴です。この三年間の相談項目の推移を見ますと15年のトップは賃金関係で118件20%でした。16年には83件で三番目となり17年は88件で四番目となりました。それにかわり15年には62件で五番目だった労働契約関係が昨年引き続き、今年度も107件でトップとなりました。労働契約関係等の相談の多くは、雇用契約書を交わしていないため

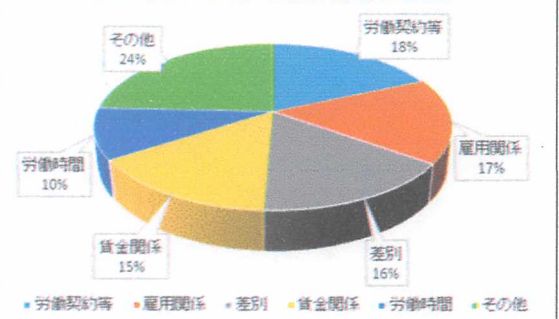
2017年年代別相談者比率



無期労働契約への転換を前にした雇い止めなどの雇用不安が生まれていることが分かります。次に相談者の年代の推移を見ますと、今年度は40代が67件と最も多く次に50代が54件、30代が43件となっています。この三年間の推移を見ますと40代が連続トップで30%を占めています。この数字から40代の労働者が職場で退職勧奨、配置転換・パワハラなどで苦しんでいる姿が浮き彫りとなっています。今年度の特徴

現れています。連合ユニオン神奈川は、これらの状況をさらに分析するとともに、相談者が相談しやすくなるよう労働相談アドバイザーを増やし、電話回線も増設しました。さらに職場に労働組合を作り労働条件を向上させるための取り組みを強めることにします。

2017年(1~8月)項目別相談数比率



徴として30代の相談が昨年の倍の75件となりました。問題が40代を中心に低年齢化していることが現れています。

第3回まちかど労働相談 相談件数が60件

連合神奈川は今年度3回目のまちかど労働相談を9月3日(日)に横浜駅東口そごう前の新都市プラザで開催しました。

共催の横浜地域連合の仲間や神奈川県職労、顧問弁護士の協力のもとチラシ入りティッシュ配り

やマイクによるデモストレーションを行い買い物客や通行する人達にアピールを行いました。

相談は男性20人・女性40人から受けました。相談内容は賃金が17件、労働時間が16件、労働契約等が7件などとなりました



32人が星空の下 ナイターを楽しむ

恒例となったナイター観戦レクは、7月22日(土)に晴天の中、横浜スタジアムで開催しました。

当日は、3塁側のスタンドを陣取り、組合員とその家族32人が熱心にひいきのそれぞれ球団に熱い声援を送りました。

試合は、巨人のエース菅野が好投し、村田のホームランで3対1と地元ベイスターズに勝利しました。

ナイター観戦も今年5年目となり、定着してきました。参加者からは、また、みんなで応援したいねとの声をいただき、来年も企画をしたいと思えます。

た。総数は前回に引き続き60件を越えました。今年最後となる次回のまちかど労働相談は10月9日(月・祝)に同じ場所で開催いたします。

新アドバイザー紹介

成重恒夫氏

(経歴)

オイレス労働組合委員長
湘南地域連合議長

(趣味)

書道、ゴルフ

秋のユニオンバーベキュー



1. 日時 10月14日(土) 午前10時30分集合
 2. 会場 横浜海の公園
 3. 集合場所 金沢シーサイドライン「海の公園南口駅」
 4. 参加費 男性2,000円 女性1,000円
- 申し込み045-154-052

今後の予定
9月23日 江ノ島地曳綱

12月15日(金)
ユニオン学習会・忘年会